



京都大学

第26回

市民防災講座 -災害リスクを考える- 自然災害に備える

参加無料

【日時】2022年7月4日(月) 13:00~16:00

【開催方法】会場(ホテルニューオータニ鳥取【鶴の間】)

・オンライン(ZOOM)併催

JR鳥取駅北口より徒歩3分

※感染防止対策のため、会場での参加人数を制限します。また、オンラインのみとなる可能性があります。

主催者挨拶 13:00-13:10

京都大学大学院 工学研究科

教授 太田 直之

講演 13:10-16:00

○講演 I 13:10-

地震によるライフラインの被害

鳥取大学 社会システム土木系学科

教授 小野 祐輔



地震により浮き上がったマンホール
(写真提供:小野 教授)

○講演 II 13:50-

多様性に配慮した災害時の被災者支援

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科

教授 阪本 真由美

<休憩>

○事例紹介 I 14:40-

鳥取県中部地震における災害対応

鳥取県 危機管理局 危機管理政策課 企画担当 課長補佐 森岡 潤一



地震により崩壊した白壁土蔵(赤瓦3号館)
(写真提供:鳥取県)

○事例紹介 II 15:20-

JR西日本の降雨災害に対する取り組み

西日本旅客鉄道株式会社

理事 米子支社長 佐伯 祥一

【定員】会場50名、オンライン500名 申込時にご選択下さい(先着順・要事前申込)

※オンライン参加の場合、インターネット接続環境、パソコン・スマートフォン等が必要です。

【申込方法】参加希望の方は、下記URL、FacebookもしくはQRコードよりホームページにアクセスしてお申込ください。

ホームページURL <<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

Facebook: 京都大学 災害リスクマネジメント工学-JR西日本-講座

※参加申込時にいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

【申込締切】6月29日(水)

【問合せ先】京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座

TEL: 075-383-3114 (平日 10時~16時) FAX: 075-383-3410

メール: info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp



※携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

主催: 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻
災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座

後援: 鳥取県/公益社団法人地盤工学会中国支部/

公益社団法人土木学会中国支部/新日本海新聞社/日本海テレビ

協賛: 西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 26回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 7月4日 (月)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。あわせて市民の皆様の防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。今回は、人数を限定した会場とオンラインの併催の予定です。

講演

●地震によるライフラインの被害

鳥取大学 社会システム土木系学科

教授 小野 祐輔

地震によって上水道、下水道、電気、電話等のライフラインにも大きな被害が起こることがあります。この講演では、近年の国内外で発生した地震で起こったライフラインの被害の特徴と原因を解説します。さらに最新の対策技術についても紹介します。

●多様性に配慮した災害時の被災者支援

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科

教授 阪本 真由美

地域には、高齢の人・障がいのある人・セクシャルマイノリティの人・子育てをしている人・ペットがいる人・外国人・観光客など多様な人がおり、災害時にはそれぞれが特有の困りごとに直面します。過去の災害対応の事例から、気づかれにくい多様な災害時の困りごとを紹介するとともに、どのような支援が求められるのかを考えます。

事例紹介

●鳥取県中部地震における災害対応

鳥取県 危機管理局 危機管理政策課

企画担当 課長補佐 森岡 潤一

平成28年10月21日に発生した鳥取県中部を震源とする地震により、県内中部地域を中心に住宅被害など多くの被害が生じ、県民の生活に大きな影響を与えました。

被災者一人ひとりに寄り添う支援(災害ケースマネジメント)の取り組みなど、地震からの復興に向けた県内の取り組みについて紹介します。

●JR西日本の降雨災害に対する取り組み

西日本旅客鉄道株式会社

理事 米子支社長 佐伯 祥一

JR西日本では近年の激甚化、高頻度化する自然災害に備えるため、様々なハード対策やソフト対策を実施しています。今回は、過去山陰地方で発生した降雨災害の事例やその対策についてご紹介します。本講演を通じ、鉄道の防災・減災の取り組みに対するご理解を深めていただければ幸いです。

自然災害に備える

会場 ホテルニューオータニ鳥取【鶴の間】 〒680-0822 鳥取市今町2丁目153 (JR鳥取駅北口より徒歩3分)

市民防災講座 ご参加方法

参加事前登録

ホームページURL
<http://www.ise.kuci.v.kyoto-u.ac.jp/lab/>



※携帯電話のご利用マナーに協力ください。

受付完了メール

参加事前登録後
3日以上経過しても
受付完了メールが
届かない場合は
【問合せ先】まで
ご連絡ください

会場参加

オンライン参加

講座当日

開始時刻までに
会場へご来場ください

6/30(木)まで

参加用のURLと
当日の詳細について
ご登録メールアドレス
にお送りします

講座当日

開始時刻までに
ご案内メール記載の
URLにアクセスして
ご参加ください

《ご注意事項》

※オンラインでご参加の方は、「ZOOM」ビデオウェビナー(ウェブセミナー形式)となります。

ご参加には「ZOOM Cloud Meetings」無料アプリを最新バージョンでインストール済みの端末が必要となります。

ブラウザの種類やバージョンによって機能が制限される場合がありますので、アプリのインストールを推奨しております。

※インターネット接続料および通信料はご負担いただきます。予めご了承ください。